

## 18歳選挙権と明保中学校

校長 矢野 尊久

今年から18歳に選挙権が引き下げられ、夏の国政選挙から実施されました。まだまだ今の中学生には先のことのように、中学校3年生の多くが3年後、高校3年生から選挙権をもつことになります。いざ選挙権をもらっても「どうしていいかわからない…」ということのないように準備しておくことは今から大切なことです。

そこで先日の朝礼ではこの選挙権の話題に触れて生徒たちに話をしました。まず、選挙権18歳というのは世界の国の9割が実施（16歳からの国もあります）していること、そしてなぜ選挙権が引き下げられたかということ。選挙権が引き下げられたのは、もちろん若い人が政治に関心をもってほしいことが大きな理由ですが、もう一つの理由は高齢化社会をむかえて政治に対してお年寄りや一部の人がばかりの意見や考えでなく、若い人の意見や考えも反映させないといけないからです。つまり、選挙権をもつということは、ただ投票できるという権利をもつだけでなく、世の中のことについて調べたりして自分の意見や考えをもつということ、社会の動きや問題になっていることに興味や関心をもつことが欠かせないものになってくるのです。

先月、明保中学校では生徒会役員選挙が行われました。これは将来の選挙権を考えると選挙に関係する身近な学校行事として大切なものです。この選挙の中で、候補者は立会演説会において明保中学校のことについてしっかり考えて「よりよい学校にしよう」と自分の意見や考えが伝わってきてすばらしい演説でした。そして何より大切なのは、投票する側も明保中学校での生活に関心をもって、よりよい学校とはどんなものなのか、どうすればよりよい学校生活が築いていけるかという視点で真剣に自分の頭で考えることです。その上での共感できる候補者に投票となるのですが、この「よりよい学校にしよう」と一人ひとりが考えることが、将来に選挙権をもった時、戸惑いなく投票できる資質や能力に結びつくのだと思います。

将来、多くの生徒がこれらの経験を踏まえてよりよい生き方や暮らしの実現のために選挙権を使ってほしいものです。また、同時に選挙を正しく実施することも大切な資質や能力になってきます。選挙権は自分の意思を表す与えられたチャンス、公正で責任ある行動で選挙することも学校で学ばせていきたいと思います。

日本というひとつの船に乗り合わせた仲間として、行き先を決めるのは一人ひとりにかかっています。将来は有権者として義務と責任を負うことにもなります。これから選挙権をもらうまでの期間は、そのための大切な姿勢づくりと思考の成熟の期間として有効に使ってほしいと願うばかりです。

### ◇花のある学校に◇

明保中学校では、地域の方が毎週花を生けに来てくれています。もともと明保中学校には華道部があり、生け花が飾られていたこともありましたが、暫くは花のない状態が続いていました。しかし、今年の6月になって機会あって、当時生け花をしてきていた地域の方が再び当時のように明保中学校にもう一度きれいな花を生けて先生や子供たちに花を愛でてもらおうと、毎週のように生けてくれています。もちろん地域の方が全てご厚意でおこなってくれているもので、地域にある花を仕入れ、季節にあったアレンジをしてくれています。生け花は、職員室前、2階職員トイレ前2カ所、校長室など4カ所にいつも美しい花があり、心が安らんでいます。

(毎週の生け花の詳細は本校のホームページをご覧ください)



10月・11月の予定

10月22日	土	教科作品展	11月4日	金	生徒総会5・6校時
10月24日	月	一斉委員会	11月7日	月	全校朝礼 貧血検査 ※弁当持参
10月26日	水	3年生三者面談開始(11月1日まで)	11月9日	水	期末考査一週間前
10月28日	金	2年生体験学習(国立ハセン資料館)	11月14日	月	生徒会朝礼
11月2日	水	研修会のため1年該当クラス 男子以外給食後下校	11月16日 ~18日	水 金	期末考査 18日は考査後一斉委員会

## 明保クオリティ 2016

担当 大場 輝彦

3年生は先月2泊3日の修学旅行に行ってきました。無事大きな事故やトラブルもなく、全員が帰ってきたことにホッとしています。この記事を書いているのは教科作品展の前ですが、生徒たちは修学旅行の思い出が多すぎるのか、連日居残りを重ね事後学習(旅行記)に追われています。

(これが明保クオリティ?)

修学旅行への取り組みが始まったのが4月。オリエンテーションから始まり、京都・奈良にまつわるCM(JR東海)を約20年分1時間まるごと観たり、事前学習として京都・奈良にある歴史的建造物や文化財について調べ学習をしたり、実行委員会に関しては放課後に集まること10回以上を数え準備を重ねてきました。

その中でも1番準備を重ねた(苦労した)のが、2日目の京都班行動のコース作成でした。1年生のときの校外学習(東京めぐり)以上に複雑で、どのバスに乗ればよいか、系統や行先、所要時間など調べることに苦労しました。居残りが多くなり、夏休みぎりぎりに完成という班も多かったです。

そもそも、事前学習で調べたとはいえ、どの場所を見学すればいいのか。そこで3年生のみんなに大きなヒントを与えてくれたのが、突如3Cの廊下に張り出された大きな京都の市街図でした。そこには、京都の見どころや定番がわかりやすく書いてありました。あの地図を作成してくれたのは加藤先生です。

また、今回の修学旅行の目玉のひとつとして、能楽・狂言鑑賞をしました。実際に舞台を見学すると、今回の修学旅行のなかで最も印象に残ったと作文に書いている人もいました。思い返すと修学旅行に合わせて、授業で能・狂言に触れてくれたのは甲斐先生でした。鑑賞中も事前に学習していた内容に反応していた生徒もいました。

今回の修学旅行は歴史に触れ、仲間との友情を深め、一生思い出に残る行事でした。みんなで集まって食べた2日目のすき焼き、最高だったな!そして、この行事では様々な場面でお世話になった人たちがいることも忘れずに。この経験を生かしてさらに自分を、そして明保クオリティを高めていきましょう。



※ 告知

生徒たちが頑張って作成中の修学旅行・旅行記は10/22(土)一挙公開!!